

○ディベートの流れ

※打ち合わせ

①肯定側立論

②肯定側立論に対する質疑（反対尋問）

③否定側立論

④否定側立論に対する質疑（反対尋問）

※作戦タイム①

⑤否定側反駁

⑥肯定側反駁

※作戦タイム②

⑦否定側最終弁論

⑧肯定側最終弁論

○各パートの役割・特徴・注意点

1. 立論

- ・論題について肯定／否定のそれぞれの立場で自分たちの意見を鮮明に述べる（全体の叩き台）
- ・肯定側はオープニングトークのような役割をもつが、否定側は肯定側の立論を踏まえた形での立論になることが望ましい

2. 質疑応答（反対尋問）

- ・相手の議論で不明瞭であった部分の確認（土俵のすり合わせ）や論理矛盾に対する攻撃などを行う
- ・主導権を有するのは飽くまでも質問／尋問側である（応答側の発言を遮っても構わない）
- ・ディベートの中で唯一インタラクティブなパートである

3. 反駁

- ・相手側の意見に対する批判、相手側からの批判に対する反論を行う
- ・相手からの質疑／尋問に対して答えられなかったものはここで回答する

4. 最終弁論

- ・これまでの流れを再構成しながら、相手側と比較して自分たちの立場の方が正しいことを最終的にアピールする
- ・新しい主張や根拠は出さないようにする
- ・立論の単純な繰り返しにならないようにする